

行政事業レビューシート (文部科学省)

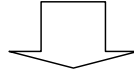
予算事業名	実践型学習支援システム構築事業	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	生涯学習政策局	担当課室	政策課	政策課長 上月正博		
会計区分	一般会計	上位政策	生涯を通じた学習機会の拡大			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	「再チャレンジ支援総合プラン」 「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策につ いて」 「教育振興基本計画」			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	「再チャレンジ支援総合プラン(改正:平成20年1月17日)」や「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について(平成20年2月19日中央教育審議会答申)」、「教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)」等を踏まえ、地方公共団体や社会教育施設、大学、雇用関係機関、経済団体、女性団体等が連携し、就業や起業、社会参加をめざす人を、学習相談から学習機会の提供、学習成果の評価・認証、就業・起業等に至るまで、一貫して支援する、実践的な学習支援システムを構築する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)実践型学習支援システム推進委員会の運営等 有識者により構成される「実践型学習支援システム推進委員会」を設置し、各地域における先進的な実践等を踏まえつつ、学習相談(入口)から就業・起業等(出口)に至るまで、実践的な学習を一貫して支援するシステムの在り方について調査・研究を行う。また、その成果を広く全国に普及する。 (2)実践型学習支援地域協議会の設置等 地方公共団体や社会教育施設、大学、雇用関係機関、経済団体、女性団体等の関係機関で構成する「実践型学習支援地域協議会」を設置し、①実践的な学習支援のためのワンストップ窓口や訪問等による相談・情報提供、②地域の事情等を踏まえた、地域での就業・起業等に資する実践的な学習機会の開発及び体系化、③学習成果の評価・認証、④地域における成果の普及・定着に向けた取組み等を行う。					
実施状況	平成21年度「実践型学習支援システム構築事業」委託先:7団体					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	528	195	140	—	—
	執行額	525	165	109		
	執行率	99.4%	84.6%	77.9%		
	総事業費(執行ベース)	—	—	—		
自己点検	支出先・ 使途の把 握水準・ 状況	本事業の実施に当たっては、文部科学省が直接に業者等に対し物品の購入などを行うものについては、本事業の担当課のみならず、担当課が属する局の筆頭課の確認等を経て、複数の部局で確認・執行している。また、委託調査研究を行うものについては、外部有識者で構成する事業選定委員会の審査や、各委託(補助)先から提出される実績報告書や経理関係書類等により、支出先・使途を把握し、使用状況や事業目的との整合性について確認を行うなど、支出先や使途については十分に把握できている。				
	見直しの 余地	実施状況や支出先、使途の把握等に問題はないが、本事業における目的は概ね達成されたものと判断し、21年度限りで廃止とする。				
予算 チーム 監視の 効率化	本事業における目的は概ね達成されたものと判断し、平成21年度をもって廃止している。					
補 記						

文部科学省  
109百万円

本省執行分  
諸謝金 0.2百万円  
職員旅費 0.4百万円  
委員等旅費 3.0百万円  
庁費 0.4百万円  
を含む

実践型学習支援システムの構築のため、地方公共団体や社会教育施設、大学等から結成される協議会の申請にもとづき、下記テーマに沿った事業を委託。

- ①実践的な学習支援のためのワンストップ窓口や訪問等による相談・情報提供
- ②地域の事情等を踏まえた、地域での就業・起業等に資する実践的な学習機会の開発及び体系化
- ③学習成果の評価・認証
- ④地域における成果の普及・定着に向けた取



(再委託あり)

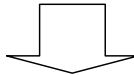
【委託】〔公募・企画競争〕

(再委託なし)

A. 教育委員会、大学を母体とした協議会  
(任意団体)全3団体  
43.3百万円

B. 教育委員会、大学を母体とした協議会  
(任意団体)全4団体  
61.7百万円

文部科学省からの委託にもとづき、地域の人材等の資源を活用しながら、上記テーマに沿った実践型学習支援システム構築に資する事業を実施。



【再委託】

C. 市町村又は市町村教育委員会、大学、生涯学習センター等の教育施設、NPO法人等全7団体  
13百万円

Aの協議会からの再委託にもとづき、補完的に調査やイベント等を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

(富山県再チャレンジ学習支援協議会のケース)

文部科学省



A. 富山県再チャレンジ学習支援協議会  
16百万円



【再委託】

C. 財団法人富山県女性財団  
1.6百万円

A. 富山県再チャレンジ学習支援協議会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料	会場借料等	5.8			
諸謝金	講師謝金等	1.6			
印刷製本費	報告書等印刷	0.6			
旅費	講師旅費等	0.2			
消耗品費	事務用品等	0.1			
通信運搬費	郵便料等	0.1			
会議費	会議用茶代等	0.1			
雑役務費	業務請負等	5.9			
再委託費	再委託に必要な経費	1.6			
計		16.0	計		0.0
B. 和歌山再チャレンジ学習支援協議会					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師謝金等	3.8			
賃金	スタッフ賃金	2.2			
借料及び損料	会場借料等	0.8			
旅費	講師旅費等	0.7			
印刷製本費	ちらし、ハンドブック等	0.5			
消耗品費	事務用品等	0.4			
通信運搬費	郵便料等	0.2			
会議費	会議用茶代等	0.1			
雑役務費	ホームページ運用、学習コンテンツの開発等	7.3			
計		16.0	計		0.0
C. (財)富山県女性財団					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	講師謝金等	1.10			
旅費	講師旅費等	0.10			
消耗品費	事務用品等	0.10			
賃借料	会場借料等	0.10			
賃金	アルバイト賃金	0.10			
通信運搬費	郵便料等	0.07			
印刷製本費	封筒印刷	0.02			
会議費	講師弁当代	0.01			
計		1.60	計		0.0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0.0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

A: 実践型学習支援地域協議会の設置(再委託先有り)

	支出先	支出額(百万円)
1	富山県再チャレンジ学習支援協議会	16.0
2	あおり再チャレンジ学習支援協議会	15.7
3	高知県再チャレンジ学習支援協議会	11.6
合計		43.3

B: 実践型学習支援地域協議会の設置(再委託先無し)

	支出先	支出額(百万円)
1	和歌山再チャレンジ学習支援協議会	16.0
2	しまね再チャレンジ学習支援協議会	15.9
3	北海道再チャレンジ学習支援協議会	15.8
4	広島県再チャレンジ学習支援協議会	14.0
合計		61.7